

一般質問通告書一覧表

平成 28 年 12 月 6 日招集
第 48 回嘉手納町議会定例会

受付 番号	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
1	3 番 安森盛雄	1. 嘉手納町 事業者立地 支援事業の 総括を伺う 2. 認可外保 育園への今 後の支援策 について 3. 音楽の町 としての相 乗効果は	(1) 補助メニューの種類は。 (2) 平成 26 年・27 年の実績は。 (3) 平成 28 年 10 月までの実績は。 (4) 補助決定後の実態把握と継続支援はどの団体がどのように実施したのか。 (5) 補助金決定後に実施要綱にそぐわない申込者の取り消し等はあったのか。(件数) (6) その対応は。 (7) 平成 29 年度はどのように考えるか。 (1) 国・県・町の待機児童対策の一環で法人保育園の認定園・認可化を進めてきたが現在の待機児童は。 (2) 平成 29 年度の待機児童の見込みは。 (3) 潜在的待機児童についての見解は。 (4) 町内の園児に対して格差があってはならないと考えるが、町の今後の認可外への支援策についての見解は。 (1) 町長の公約である音楽の町の総括は。 (2) 今後の音楽の町のあり方を町長の見解は。 (3) 全国に音楽コンテストを発信しては。	町長 當山 宏 教育長 比嘉秀勝
2	2 番 古謝友義	1. 農家の支 援強化と製 造業者の誘 致を図れ	自給自足とか地産地消といわれるが、町内の農家は世代交代が進まず苦しい状況にある。農作物が通年で供給できなければ、それを加工する製造業も発展しない。町特産品としての製造や観光客向けのお土産などに影響を及ぼすこととなる。そこで以下を問う。 (1) 本町では久得黙認耕作地区での農業が多数で	町長 當山 宏

受付 番号	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
2	2 番 古謝友義	<p>1. 農家の支援強化と製造業者の誘致を図れ</p> <p>2. 漁港の沖合移転を望む</p> <p>3. パークゴルフ場を造れ</p>	<p>あるが、町としては今後も支援していくことに変わりはないか。</p> <p>(2) 高齢化が進む現在、若者向けのセミナーの開催を継続的にできないか。</p> <p>(3) 1 年を通して農作物が収穫できるような支援策はないか。</p> <p>(4) チップ事業で農家に対し、堆肥肥料を日常的に配付できるような仕組みができないか。</p> <p>(5) 道の駅の整備が急がれるが、観光客がたくさん来る。しかしながら町特産品としての土産品があまりにも少ない。製造業者の誘致が必要と思うが見解を問う。</p> <p>昨年比謝川の浚渫工事が終わり、漁船の航行はスムーズに行われている。しかし今後の浚渫工事が約束されているわけではなく、漁民の不安は解消されていない。そこで以下を問う。</p> <p>(1) 国の予算で新しい漁港を造れないか。</p> <p>(2) 今後の浚渫工事が見込めない中、漁民の生活を支えるには沖合展開が必要と思うが見解を問う。</p> <p>(3) 浚渫工事の 3 回分の費用で漁港は造れると思うが見解を問う。</p> <p>(4) 漁民の高齢化が進んでいる。漁港の移転で若者が増え魅力ある漁業に変えていくと思うが見解を問う。</p> <p>(5) 県が比謝川の堰の撤去を決めているが、漁港に与える影響はないか。</p> <p>(6) 漁港を沖合に移して、現在の漁港を県から移行すれば県下のカヤック産業ができると思うが見解を問う。</p> <p>県内市町村には、最近色々な娯楽施設ができています。なかでも人気なのがパークゴルフ場ではないか。広大な敷地を必要とせず、1 時間程度でラウンドできるスポーツである。そこで以下を問う。</p>	<p>町長 當山 宏</p> <p>教育長 比嘉秀勝</p>

受付 番号	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
2	2 番 古謝友義	3. パークゴルフ場を造れ 4. 防犯灯の設置を 5. 児童、生徒の憩いの場をつくれ	<p>(1) パークゴルフ場を造る予定はあるか。</p> <p>(2) 現在、基本設計中の兼久海浜公園多目的広場は使えないか。</p> <p>(3) 一括交付金が使えると思うが。</p> <p>(4) 芝を張るような工事の必要もなく、低予算で完成できると思うが、ぜひ造って欲しい。</p> <p>(5) 読谷村もパークゴルフ場を計画中であり、読谷村にはゴルフ場も 3 か所ある。パークゴルフ場は先に造ったらどうか。</p> <p>水釜・大木線は防犯灯がなく、夜道は非常に危険である。そこで以下を問う。</p> <p>(1) 防犯灯を新設できないか。</p> <p>(2) 街路樹が伸びた場合、暗くて歩けないのが現状である。</p> <p>(3) 防犯灯の新設が無理であれば、街路樹を低木に切り替えて欲しい。</p> <p>現在、子どもの放課後の問題がいろいろ取りざたされている。児童や生徒が放課後、自然と足を運び遊びに興じるような広場が少ない。公園に遊具はあるが、児童、生徒のニーズにあった公園が必要である。そこで以下を問う。</p> <p>(1) 現在の公園内に、スケートボードや BMX の練習ができるようなスペース（施設）を造れないか。</p> <p>(2) 学校で、児童、生徒に公園内に何を造って欲しいかアンケートを取ったらどうか。</p>	町長 當山 宏 教育長 比嘉秀勝
3	7 番 仲村渠兼栄	1. 東京オリンピックについて	<p>平成 26 年 6 月定例会に引き続き 2 回目の質問になるが、その後町の進捗状況と方向性について伺う。</p> <p>(1) 公共施設に看板設置（カウントダウン）の予定は。</p> <p>(2) 競技誘致に向けた（県と市町村）の内容は。</p> <p>(3) 現在の日本代表・県代表選手・役員等の把握</p>	町長 當山 宏 教育長 比嘉秀勝

受付 番号	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
3	7 番 仲村渠兼栄	<p>1. 東京オリンピックについて</p> <p>2. 福祉政策について</p> <p>3. 各区自治会について</p> <p>4. 水釜第 2 町営住宅について</p>	<p>は。</p> <p>(4) オリンピック限定の新たな助成金新設の予定は。</p> <p>(5) 町が取り組む計画案は。</p> <p>(6) パラリンピックの進捗状況は。</p> <p>町は町民の福祉の向上のため、いくつかの福祉政策を立案し個別で計画し推進を図っている。そこで新年度の福祉政策について伺う。</p> <p>(1) 特定検診について</p> <p>①新年度予定の新規事業は。</p> <p>②本町と他市町村の特定検診の検査項目を比較し、その内容は検討しているか。</p> <p>③特定検診の年間計画日程を国保カード裏面に記載できないか。</p> <p>(2) 人間ドックについて</p> <p>①検査病院の拡充の予定は。</p> <p>②人間ドックと脳ドックをセットした検査に対して助成する予定は。</p> <p>(3) 歯科検診について</p> <p>①フッ化物洗口（中学生以下）を年 2～3 回実施する予定は。</p> <p>(1) 各区自治会の加入率は。</p> <p>(2) 各区自治会の 65 歳以上の人数は。</p> <p>(3) 広報かでな・町のホームページに自治会加入の広報の予定は。</p> <p>(4) 町の各種助成金交付条件に自治会加入を付記することができないか。</p> <p>(5) 新採用職員を各区自治会へ研修制度ができないか。</p> <p>避難ビルの確保は海岸に面している本町にとっては緊急な課題であり、その対策が求められている。水釜第 2 町営住宅は老朽化が激しく、建て替えの時期にあり、津波避難高層ビルに建て替える</p>	<p>町長 當山 宏</p> <p>教育長 比嘉秀勝</p>

受付 番号	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
3	7 番 仲村渠兼栄	4. 水釜第 2 町営住宅について 5. 高齢者ドライバー対策は	<p>ことで、地域の避難所としての活用ができると思う。</p> <p>(1) 水釜第 2 町営住宅の建て替えの予定は。</p> <p>(2) 津波避難高層ビルとしての予定は。</p> <p>(3) 津波避難対策室の施設を設置できないか。</p> <p>近年、高齢者（認知症を含む）に絡む事件事故、特に通学途中の児童生徒を巻き込んだ交通事故等が、全国的に多発している。本町は歩道帯のない通学路が多数ある。国や県は高齢者等に対して適性検査等を実施し、その対策を行っている。そこで、町は高齢者や初期認知症などの方に対して、どのような対策と方向性を持っているのか伺う。</p> <p>(1) 町の認知症の把握は。</p> <p>(2) 嘉手納警察署、交通安全協会との連携は。</p> <p>(3) 免許証を返納した方へ電動自転車を無償で貸し出す予定は。</p>	町長 當山 宏
4	12 番 金城利幸	1. 特養入所条件が原則「要介護 3 以上」となり「介護難民」が増加の懸念ある中、本町の現状及び将来認識と対応は	<p>平成 15 年 4 月から特別養護老人ホーム（特養）の入所条件が「要介護 3 以上」と厳しくなった。これが主因だが、一部地域で施設整備が進んだことも影響して、沖縄は待機者が 25%減ったとのこと。</p> <p>数字上は待機者が大幅に減ったが、認知症や老老介護など要介護が低くても自宅で暮らすのが難しい高齢者など行き場のない「介護難民」や家族の介護離職の増加が懸念されている。</p> <p>「サービス付き高齢者住宅」などへの選択肢もあるが、比較的利用料が安い「特養」に比べて利用料の格差は現実的に大きな課題と考える。</p> <p>私はこの町に住む全ての人々にとって、いつか来る老後の人生を見据えて、この現実を避けては通れない町政の重要な事業課題と考える。</p> <p>全国的にも各自治体とも戦後、初めて迎える地域課題である。これから先の 10 年間でも本町の暮らしの中において様々な事態が想定される。</p>	町長 當山 宏

受付 番号	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
4	12 番 金城利幸	<p>2. 保育士不足問題の本町の実態と課題は</p> <p>3. 待機児童問題の本町の実態と課題は</p>	<p>この問題について當山町長に現実の状況認識と将来対応策（ビジョン）を伺う。</p> <p>竹富町では高校がなく中学卒業後、進学のため島を離れUターンする人が少なく、住宅確保の難しさなどで保育士の定着が課題。さらに幼稚園教諭や保健師の人材確保が困難なため、町内就職を条件に原則返還不要の「町ふるさと応援奨学基金」を創設。県内初の取り組みで、来年4月から5万円を支給する。短期大学は4年以上、大学は8年以上、町内での勤務が条件とする。</p> <p>石垣市では保育所の有資格者への再就職準備費など最大40～50万円を支給。子育て中の保育士に復帰を促すため子どもを半額補助。島外からの応募者には月6万円の家賃補助。条件は2年以上の勤務としている。</p> <p>中城村の保育園は職員の子を預かる事業所内保育園を開設した。</p> <p>報道によるとさらに、県の13年度調査によると保育所に就職しない理由のトップに「仕事の大変さの割に給料が安い」次いで「現在の仕事を続けたい」「家庭と仕事の両立が難しい」などとなっているが、「保育士の仕事に熱意がない」では3%程度しかない。子どもが好きで、保育士の仕事に魅力を感じて、せっかく資格を取得しても、待遇の悪さや育児との両立が図れずに職場を去る人々がいる。県内のこのような状況下で本町での実態や課題、対策について伺う。</p> <p>保育士不足問題にも関連して「待機児童問題」について本町の実態と課題について伺う。</p>	町長 當山 宏

受付 番号	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
4	12 番 金城利幸	4. 「県子どもの貧困対策推進基金事業」と本町の取り組み状況は	<p>県の「子どもの貧困対策推進基金」を活用して、嘉手納町・北中城村・八重瀬町が子どもの貧困に関する調査を実施する。それぞれの町村での取り組み手法に違いはあると考える。</p> <p>本町の取り組み手法・内容・工程について伺う。</p>	町長 當山 宏
5	10 番 福地 勉	<p>1. 良好【クリーン】な選挙のあり方について選挙管理委員会の姿勢を問う</p> <p>2. 県民運動や基地問題について聞く</p> <p>3. 町の活性化を図るため人口増加</p>	<p>(1) これまでの選挙で選挙管理委員会が把握する違反の多い事象を記録しているか。過去のデータがあれば多い順に示し、その事象を参考に選挙において許される範囲を候補予定者にパンフなどで選挙前にレクチャーすることはできないか。現在は曖昧な点が多いように思う。</p> <p>(2) 選挙期間に電柱等へのポスターの掲示物は見苦しい。その他の違反等を記録し、管理委員会で選挙後、町民に情報公開は可能か。</p> <p>(3) 選挙管理委員会が望む選挙のあり方を述べ厳粛にその実行ができるか伺う。</p> <p>(1) 辺野古、高江への機動隊派遣について町長の見解は。関連して「土人・シナ人」発言への大阪府知事や鶴保沖繩担当大臣の発言について町長の見解を聞く。</p> <p>(2) 普天間爆音訴訟判決が出された。従来の姿勢を裁判所は変えることができなかった。第三者行為論を含め町長の見解は。</p> <p>(3) 爆音や排気ガスによる町民の健康問題について、松井教授の分析結果を踏まえてその被害について調査の規模を拡大し継続を望むが、今後の計画を聞く。</p> <p>(4) 嘉手納町全域で難聴の調査を実施できないか。</p> <p>(1) 今嘉手納町は中学までの医療費無料化や、給食費ゼロ等の施策で子育て世代から一定の注目度がある。若者向け定住住宅や子育て世代用の</p>	町長 當山 宏

受付 番号	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
5	10 番 福地 勉	<p>の実施策を問う</p> <p>4. 商業活性化の方法は</p> <p>5. 公共工事の町内優先発注と利潤還元について問う</p> <p>6. 町の公共施設について</p>	<p>町民住宅等建設を凶ってはどうか。行政のみで対応できるか、あるいは官民で考える場は必要か。</p> <p>(2) 2世帯住宅建設や現存する2世帯の世帯へ優遇措置を考えてはいかがか。</p> <p>(3) 2番地地区の開発が今後の住宅密集地解決策のモデルケースであるが、進捗状況、今後のビジョンを聞く。人口増の視点でこの事業を見た見解もあわせて伺う。</p> <p>(1) じりじりと衰退する商業の5年後、10年後、20年後の展望は。どのような策が考えられるか。</p> <p>(2) 通り会等の数と活動状況が地域商業活性化につながると思う。我が町の実態は現在どのようなになっているか。また行政の支援は。</p> <p>(3) 商業の活性化は官民一体となって取り組む必要があると感じる。 行政でできること。民間でできること。個々の企業でできること。商店でできること。整理をして協力体制を組めるよう商工会など関係団体とプロジェクトを組んではいかがか。</p> <p>(1) 町が発注する公共工事の落札者は町内の中小規模企業への利潤還元は当然と考えている。町内優先受注を促進するための施策を検討して欲しい。例えば町外業者に下請け発注する時は理由書の提出を求めるとか、入札業者指名の時、資材調達も含めて町内業者を使う比率を考慮することができないか、行政の対応を聞く。</p> <p>(2) 以前提案した地元企業優先発注指針の検討は行ったか。</p> <p>(3) 下請けの指値防止策は取っているか。</p> <p>(1) 町民の家の今後の計画と展望は。</p> <p>(2) 文化センター、中央公民館や図書館、児童館、各区コミュニティー施設等でプロジェクター等</p>	<p>町長 當山 宏</p> <p>教育長 比嘉秀勝</p>

受付 番号	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
5	10 番 福地 勉		映像ビジュアル機器の充実と時代に即応した新型機への対応を図って欲しい。	
6	1 番 宇榮原京一	<p>1. 有料指定ごみ袋の低価格を</p> <p>2. 本町の台風対策は万全か</p> <p>3. 自治会活動への支援拡大を</p>	<p>ごみ袋は毎日使うものだけに価格をもう少し安くできないかとの要望がある。そこで以下を問う。</p> <p>(1) 近隣市町村と比べ、本町のごみ袋の価格をどう思うか。</p> <p>(2) ごみ袋の販売方法と自治会への販売手数料は。</p> <p>(3) 業者選定と発注（仕入れ）方法はどのように。</p> <p>(4) 企業広告を活用する考えは。</p> <p>(5) U字型(取っ手付き)ごみ袋の導入の考えは。</p> <p>今年の台風は6月まで台風の発生が全くなく、7月から今日まで一気に24個も発生し、北海道・東北など全国的に甚大な被害をもたらした。台風被害を最小限に押さえるのは事前対策である。台風接近に伴う本町の対策は万全か。</p> <p>(1) 本町の台風時における一連の対策は。</p> <p>(2) 台風時における避難所の設置と避難指示はどのタイミングで行うのか。また、周知はどのように。</p> <p>(3) 避難勧告に基づき、避難された方々の人数と主にどのような世帯の方々が避難をされたか。</p> <p>(4) 漁港護岸沿い、町道73号線のバリケードの閉鎖は、どのような状況になった場合閉鎖するのか。</p> <p>(5) 個人の老朽化した店舗看板は、台風時において吹き飛ばされる恐れがある。当局の見解を。</p> <p>(6) 学校の臨時休校は、どの段階でどこが指示を行うのか。</p> <p>現在の自治会は、高齢化、担い手不足等のため思うような活動ができない状況にあると聞く。</p> <p>自治会の活動は、自分たちの地域は自分たちで守るという気概でやられている取り組みであり、</p>	<p>町長 當山 宏</p> <p>教育長 比嘉秀勝</p>

受付 番号	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
6	1 番 宇榮原京一	3. 自治会活動への支援拡大を	<p>ボランティア活動そのものである。</p> <p>自治会活動の取り組みは、我が町を守る取り組みでもあり、その取り組みの輪が広がれば、本町の目指す町民と行政がともに築くまちづくりにもつながり、さらに安心・安全なまちづくりになる。そこで以下を問う。</p> <p>(1) 地域の希薄化、自治会加入者の減少、区民の高齢化、婦人会活動の停止など、現在の自治会の状況をどう考えるか。</p> <p>(2) 各自治会より町からの補助金を増額して欲しい要望が出ていると思うが、どのようになっているのか。</p> <p>(3) 現在の補助金の額と増額を見込んだ場合の額は。</p>	町長 當山 宏 教育長 比嘉秀勝
7	15 番 田仲康榮	1. 嘉手納基地返還後の経済効果について改めて伺う	<p>(1) 返還後の</p> <p>①生産誘発額は。</p> <p>②誘発雇用人数は。</p> <p>③税収効果は。</p> <p>以上のことは、軍用地主への返還に向けた意志確認のためにも大切なものであり、基地をなくせばどういった経済効果が生まれてくるのか基本的な重要な要素となる。ぜひ出していただきたい。</p> <p>(2) 町は 9 月定例会の答弁で専門的な調査が必要としているが、なぜ調査をしないのか。専門家に依頼すべきではないか。</p> <p>(3) 米軍関連の消費支出及び防衛省、米軍による基地関連整備費についてなぜ把握できないのか。</p> <p>(4) 地主会への返還に向けた問題提起と方針決定を。</p> <p>①具体的な返還場所の特定を。</p> <p>②日米両政府への提起を。</p> <p>(5) これまで地主会から嘉手納基地返還についての問題や疑問提起があったか。</p>	町長 當山 宏

受付 番号	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
7	15 番 田仲康榮	<p>2. 子どもの 貧困対策 一法の趣旨 と支援策の 充実を一</p> <p>3. 農業振興 のために諸 問題の解決 を図れ</p>	<p>(6) 嘉手納基地の返還と跡地利用計画の決定の具 体化を。</p> <p>(1) 具体的な方向と具体化は。 (2) まず何をやるのか。支援策の選択肢の特定は。 (3) 具体的に予算はどうなっているのか。これま での施策と新規策は。 (4) 町の貧困率はいくらか。 (5) 生活保護者数、子ども(18才まで)の数は。 (6) 要保護、準要保護の児童生徒数は。</p> <p>農業振興を図るために下記事項の解決のための 方策を伺いたい。</p> <p>(1) 町有地平山農園管理のあり方、遊休化した農 地の公募の方法。 ①町だより広報への記載を。 ②広報スピーカーで流す。 ③応募資格を70才後半までに。 ④一戸当り耕作面積を最大1,000坪以内にでき ないか。(規約では個人の耕作面積は1,000坪 以内となっている) ⑤新規就農の方を優先にできないか。 (2) チップ堆肥を畜産農家の家畜糞尿を利用した 付加価値の高い堆肥作りを。 (3) 集出荷場内の冷凍設備を連休時にも活用でき ないか。 (4) 久得黙認耕作地内の規制が強化されており、 嘉手納基地や防衛局に規制緩和を求めて欲し い。農地の世代交替禁止で遊休地が多く、農道 整備等もうまくいかない。 (5) 久得耕作地での害鳥が異常発生しており、対 策強化を。 防虫ネット類の助成、移動系アーチパイプ圃場 を囲む柵、パイプ類の購入に助成措置はできな いか。 (6) 農業委員会の組織活動強化を。</p>	町長 當山 宏

受付 番号	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
7	15 番 田仲康榮	3. 農業振興 のために諸 問題の解決 を図れ	<p>活動が見えない。農民の立場で農業振興に取り組んで欲しい。</p> <p>(7) 産業展示会で町スポーツドームの活用を。 第 10 回産業展は悪天候で中止となった。悪天候でも展示会が可能のため、町スポーツドームも検討できないか。</p> <p>以上の要望は 10 月 18 日の農連協との懇談会で出された大切な農家からの行政への提案であり、町当局の明確な回答を求めたい。</p>	町長 當山 宏
8	11 番 知念 隆	<p>1. 就学援助 について</p> <p>2. 子ども医療費無料化の拡充について</p>	<p>(1) 本町の小中学校における就学援助率は約 16%と県平均の約 20%よりも低い率になっている。その要因は対象要件が非課税世帯ということが主な要因と思われる。 中部地域でも要件の中に児童扶養手当の受給を対象要件としている市町村が多い。生活困窮世帯の子どもたちの就学を支援するために本町においても児童扶養手当の受給を要件にできないか見解を伺う。</p> <p>(2) 平成 27 年度の就学援助の年間助成総額について。(小中の保護・要保護別)</p> <p>(3) 現在、児童扶養手当を受給している世帯数について。(小・中学生がいる世帯)</p> <p>(1) 本町の子ども医療費は中学卒業まで無料となっているが、全国においても中学卒業までの無料化は約 47%となっている。 本町は基地の騒音被害を日常的に受けており、基地による騒音がない静かな市町村に比べると教育環境としては劣る。よって経済的な支援をすることにより、均衡を図るべきだと考える。県内においては金武町をはじめ 5 町村で高校卒業まで通院費を無料にしている。全国においては大学卒業まで無料化をしている自治体もある。そこで次の 2 点について伺う。</p>	町長 當山 宏 教育長 比嘉秀勝

受付 番号	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
8	11 番 知念 隆	3. 街路灯・防犯灯のLED化及び増設について 4. 若者の就業支援について	<p>①18歳まで無料化した場合の対象者数は。 ②本町においても町民から要望が多い高校卒業までの医療費無料化ができないか見解を伺う。</p> <p>(1) 平成27年度より街路灯及び防犯灯のLED化が実施されているが、現在の進捗状況と今後の作業スケジュールについて伺う。 (2) LED化による消費電力の削減状況について伺う。 (3) LED化により夜間の道路が明るくなって安心だという声が聞こえる反面、暗い箇所も目立つようになり、各地域で防犯灯の増設を求める声が出ている。次の箇所へ防犯灯の設置を早急にできないか。 ①町道48-1号線マルチメディアセンター入り口付近 ②町道48号線カラオケハウス「デュエット」付近 ③町道48-2号線中央付近</p> <p>(1) 本町における年代別の失業率について伺う。 (2) 若年層の就業を支援するため就職に有利な各種資格を取得する際の資格取得費助成制度の創設について。 (3) 若年層の就業支援について町の取り組みは。</p>	町長 當山 宏 教育長 比嘉秀勝
9	6 番 照屋唯和男	1. コミュニティー道路の夜間の安全確保について 2. 広場、公園の除草、枝の伐採計画について	<p>(1) 屋良西原線においては夜間の歩行者が暗闇を不安に歩く状況。照度を良くできないか。 (2) 同様に歩行者の優先的なコミュニティー的な道路が町内何箇所あるか。また夜間の歩行者の安全環境は十分か。</p> <p>近隣の公園や広場の雑草が腰の丈まで繁茂し荒地状態にある時期があった。子どもたちの休み期間中に公園や広場で遊べない状況があったが、年間の計画ではどのように考えられていたのか。</p>	町長 當山 宏

受付 番号	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
9	6 番 照屋唯和男	3. 誤課税を 返還せよ	<p>町の区画整理事業では本換地に至るまでの間、長年にわたり減歩として公共事業で道路や公園その他公共用地に充当する分や、また事業費にあてるための保留地に権利者から法的に提供させた減歩負担面積も含んで課税してきたことは間違いであるため、減歩負担面積の課税してきた分を権利者へ返還せよ。</p> <p>減歩とは 9 月議会で都市建設課長が述べてきたとおりで土地の所有者から一定の率を決め減歩してその地区内の公共用地、道路とか公園法的に義務づけられている公共用地に充当される面積であると説明されている。また、これまでの質問の中でも公共減歩は公益的資産である答弁を受け当然、非課税といわれてきている。</p> <p>地方税法上、減歩面積イコール公共用地と記載ないといわれるが区画整理法上減歩面積イコール道路、公園事業費への充当と法で示されている施工者の町の管理地となっていることを理解し誤りを認めよ。</p>	町長 當山 宏
10	5 番 新垣貴人	<p>1. 防災行政 について</p> <p>2. 子どもの 貧困対策に ついて</p> <p>3. 一括交付 金について</p>	<p>(1) 今回、実施された防災訓練の内容は。</p> <p>(2) 現状の防災倉庫の配置状況は。また、その管理者に対し倉庫内備品の使用方法、活用状況、管理台帳の整備等の把握はなされているか。</p> <p>(3) 避難ビルや災害物資提供に対する協定の締結状況は。</p> <p>(1) 子どもの貧困対策に対する調査の進捗状況は</p> <p>(2) 町独自の教育費支援拡充は。</p> <p>(3) 公営の子ども食堂の運営は。</p> <p>(4) 子ども食堂を民間が実施する場合の公的支援の実施は。</p> <p>(1) 沖縄県と嘉手納町の配分額は。</p> <p>(2) 本町の交付決定状況と事業内容は。</p> <p>(3) 今後、予定の事業計画は。</p>	町長 當山 宏 教育長 比嘉秀勝

受付 番号	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
11	9 番 當山 均	1. 牧港補給 基地の倉庫 群・他の知 花地区への 移設に伴う 環境影響評 価の実施を 求めよ 2. 精神障が い者に対し て、身体・ 知的障がい 者と同等に	<p>今年 8 月、沖縄市長は「米軍牧港補給基地倉庫群の一部及びキャンプ瑞慶覧からスクールバス関連施設」の嘉手納弾薬庫知花地区への移設受け入れを表明した。</p> <p>移設に伴う開発面積は約 40 ヘクタール。主要な移設建物は 14 棟。建物の計画面積合計は約 15 ヘクタール。スクールバス 80 台が駐車予定。従事する従業員は約 1,000 人予定。</p> <p>移設予定地には比謝川の支流「与那原川」が横断しており、移設予定の検査場・整備場・洗濯クリーニング場からの多量な排水等により、比謝川の汚染、水質悪化などの影響が危惧されている。</p> <p>ご承知のとおり、米軍提供施設は施設内への立ち入りが制限されることから、建設されると事故等の際に国内法等に基づく立ち入り検査ができず、施設内の環境保全や環境対策が分からない状況が懸念される。</p> <p>そのため、環境影響評価（環境アセス）によって、計画段階で環境保全対策や環境基準等への対応内容について十分な議論と計画への反映、建設後の検証・調査が重要だと考える。</p> <p>さらに、本町は平成 25 年度に「嘉手納比謝川利活用基礎調査報告書」を作成し、比謝川を利活用した様々な構想・事業計画を立てていることを踏まえ、比謝川の汚染、水質悪化など影響が危惧される当該事業に対しては主体的に取り組む必要があると考える。</p> <p>については、沖縄市と連携のうえ国及び県に対して「環境影響評価(環境アセス)」実施を強く求めることを提言する。ご見解を伺いたい。</p> <p>10 月下旬に開催した「各種補助団体と議会との懇談会」において、文教厚生常任委員会所管の「町精神療養者家族会」から、みだしの要望が出された。平成 27 年 12 月定例会において同様な一般質問が行われているが、再度取り上げ制度改善に向</p>	町長 當山 宏

受付 番号	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
11	9 番 當山 均	3. 火災報知機設置に対する助成対象の拡充を	<p>このような中、本町においては「日常生活用具給付事業」として、身体障がい者(児)2級以上、または重度・最重度の知的障がい者(児)であって、火災発生の感知及び避難が著しく困難な者のみの世帯・これに準ずる世帯に対し、音または光を発しブザーで知らせる火災報知器(本人1割負担)を助成する制度がある。</p> <p>さらに、ひとり暮らし高齢者及び高齢者のみの世帯に属する者に対して火災報知器を(1世帯あたり3台上限)給付する事業も行っている。</p> <p>本事業においても、対象者に「精神障がい者保健福祉手帳の保持者」が含まれていない。さらに高齢者ではなく、且つ2級以下の身体障がい者(児)、及び等級が重度以下の知的障がい者(児)が属する世帯に対しては給付助成の対象外となっている。</p> <p>については、このような実態を調査・把握したうえで、対応を図ることを求める。見解を伺いたい。</p>	町長 當山 宏
12	16 番 德里直樹	<p>1. 児童・生徒の健全育成について</p> <p>2. 母子・父子家庭に住宅支援策を</p>	<p>(1) 各学童クラブの事業の状況、課題、将来像は。</p> <p>(2) 生徒理解・支援記録簿の現状は。</p> <p>(3) 個別の教育支援計画・個別の指導計画の現状は。</p> <p>(1) 本町の母子・父子家庭の世帯数は。</p> <p>(2) 公的施設への住宅世帯数は。</p> <p>(3) 県内市町村の住宅支援策の現状は。</p> <p>(4) 住宅支援策拡充への取り組みは。</p>	町長 當山 宏 教育長 比嘉秀勝